

荒小学校だより

教育目標 学ぶ子 高まる子 きたえる子



荒小



柏崎市立荒浜小学校

柏崎市荒浜1丁目2番11号

TEL 0257 (23) 6611

FAX 0257 (23) 6982

←ときどき更新中…

2024.7.5 No.500

## いじめについて考えること

校長 笠原道宏

いじめは人権・命に関わる重大な問題です。柏崎市では、6月と10月を「いじめ見逃しゼロ強調月間」として取組を進めており、当校も教育相談としての「心ほっとタイム」、全学級で人権にかかわる「道徳の授業」を公開し、仲間を大切にしている活動を実施しています。

新潟県が展開している「いじめ見逃しゼロ県民運動」ですが、平成19年のスタートは「いじめ根絶県民運動」でした。なぜ【根絶】から【見逃しゼロ】に変わったかご存じの方もいらっしゃるかもしれません。

県民運動がスタートした当初は、いじめをゼロにしようという考えのもと、活動が開始されました。ところが、根絶を目標に進めていくことで、未解決のいじめが解決とされたり、いじめがあるのにないこととなったりしないかという不安も起きることとなりました。「いじめはどの学校にもどの子どもにも起こりうる」との認識に立ち、いじめをゼロにするのではなく、いじめを見逃すのをゼロにしようとして学校・家庭・地域が連携して、いじめの積極的な認知に努める方向へと転換されたのが理由だと聞いています。

いじめがなぜ起きるのかについては、いろいろな考え方がありますが、もともと人間が持っている「人より良くなりたい」「人より幸福でいたい」「人より優れたい」といった感情が原因という人がいます。良くなるためや自信を持つために、努力を重ねるという方法をとるのではなく、人をさげすんだり、嫌な気持ちにさせ立場を低くさせることで、自分自身の安定を図るのがいじめのメカニズムだという人もいます。もしそうだとしたら、いじめを行うということはとても『カッコ悪い』生き方ではないかなと感じます。

また、いじめはどこにでも起こる、どこにでもありうるという視点に立てば、もしかしたら子どもの話だけでとどめるのではなく、私達大人も考えなければならぬことなのだろうと思っています。

社会でも大人の間での悪口、誹謗中傷、SNSでの批判など、している側が些細なことと思っていることであっても、された方、受けた方の心のメモリーには事実が“傷”となって書き込まれ“ずっと消えない”こともあります。

子どもには、傷を負わせる方にもなってほしくないし、受ける方にもなってほしくないです。子どもに指導することも大事ではありますが、常に私たち大人自身も、自分を見つめ直しながら、一緒に学び続ける姿勢を忘れないようにしたいと考えています。